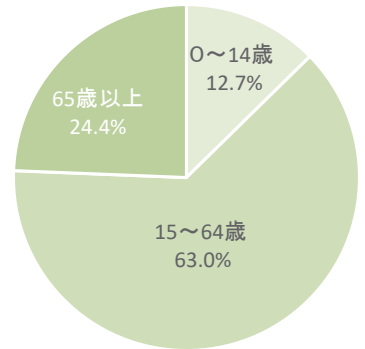


# 第3地区福祉プラン

本庁管内の西南に位置し、古い歴史を有するこの地には、東武東上線川越市駅・JR川越線西川越駅があるほか、河岸街道、川越日高線等の道路が交差し、交通の要所となっています。地域内には川越市保健所と川越市総合保健センターがあり、市の保健・福祉の拠点地域として市民に親しまれています。

■人口	17,026人
■世帯数	7,935世帯
■民生委員・児童委員数	24人 (主任児童委員を含む)
■保健推進員数	5人
■ボランティア団体数	9団体
■老人クラブ数	2クラブ
■福祉施設数	22施設

■年齢別割合



## 活動目標1 地域のつながりを深める交流の場を作ろう

- ◆世代間（子どもから高齢者まで）の交流の機会が持てるイベント（グラウンドゴルフ、バス旅行、ハイキング、昔遊びの会等）を地区社協、自治会、育成会等が協力し合い企画実施する。
- ◆地域住民がふれあい交流できる場や機会（いもっこ体操、介護予防体操、ラジオ体操等）を通じて、積極的に健康維持活動をサポートする。
- ◆地域内であいさつや声かけが自然と習慣となるように自治会及び育成会他諸団体に積極的に働きかける。
- ◆広報活動の一つとして、「社協だより」の定期発行を継続させるとともに、その内容については地域住民が知りたい情報を把握し、地域福祉活動への関心を啓発する。

## 活動目標2 地域での見守り活動に取り組もう

- ◆民生委員・児童委員や自治会役員だけの見守り活動だけではなく、見守りの担い手としてのボランティアを募集し、地域のアンテナ役を増強する。
- ◆地域内で、自治会、民生委員・児童委員、育成会は協力した体制を構築するために定期的に会合を持ち、情報の共有化を推進する。
- ◆一人暮らしの高齢者が外に出かける機会を設ける（茶話会その他）。

## 活動目標3 災害に備える取組を充実させよう

- ◆地域内の自治会を中心とし、各種団体（育成会、老人会、交通安協会、環境推進委員会、青少年育成委員会、山車・囃子保存会等）やスポーツ等の同好会（グラウンドゴルフやソフトボールなど）そして民生委員・児童委員が一致団結し、安全安心なまちづくりを推進するとともに、地震・風水害などの災害に対処できるような地域の協力体制を構築する。
- ◆自治会及び自主防災会は地震及び水害時の避難場所を再検討し、さらに地区内のハザードマップを構築することにより、避難場所までの経路の周知徹底を図る。
- ◆災害発生時に一人暮らしの高齢者、要援護者に対するサポートについて、情報を把握している民生委員・児童委員は自治会と平常時に役割分担を確認しておき、もしもの時にスムーズな行動をとれるような仕組みを整備する。

【人口、世帯数】情報統計課（令和3年1月1日現在）

【民生委員・児童委員数】福祉推進課（令和2年4月1日現在）

【保険推進員数】健康づくり支援課（令和2年3月31日現在）

【ボランティア団体数】市社協に登録しているボランティア団体数

（令和2年3月31日現在）

【老人クラブ数】川越市老人クラブ連合会に登録している老人クラブ数

（令和2年4月1日現在）

【福祉施設数】令和2年度「保健・医療・福祉のしおり」

## 地図と主な地域資源



②⑦⑧サロン活動



①～③⑤⑨いもっこ体操教室



②地区別福祉懇談会事業



⑤一人暮らし高齢者集い事業

No.	主な活動場所	No.	主な活動場所	No.	主な活動場所
①	上野田町自治会館	⑤	東田町自治会集会所(ココロマチ)	⑨	小ケ谷下集会所
②	野田町1丁目自治会集会所	⑥	今成自治会館	⑩	小室町自治会館
③	野田町2丁目自治会集会所	⑦	東条集会所		
④	東田町自治会集会所	⑧	小ケ谷自治会館		

地区別福祉プランは「みんなでつくる福祉のまち川越プラン」の一部として、市民、各種団体、事業者等による支え合い・助け合い活動を促進するため、地区社協が中心となって具体的な取り組みを定めました。

発行：第3地区社会福祉協議会  
 編集：川越市社会福祉協議会  
 〒350-0036 川越市小仙波町2-50-2  
 電話：049-225-5703